

食と農について考える



生きるために、ひたすら刈る

(森と若者をつなぐ～聞き書き甲子園の10年：吉野奈保子)

植林したスギの下草刈りは夏に行う。下草は学生たちの腰以上の高さに繁茂しており、スギは少しだけ頭を覗かせている状態だった。何人かは草刈り機を使い、その他のメンバーは、大鎌をふるう。ときどき、「あ、蜂がいる！」という叫び声があがった。でも、あとはただ黙々と、炎天下の中で作業が続いた。およそ2時間も作業を続けただろうか。学生たちは、もうヘトヘトだった。

高橋さんの家の縁側に座り、スイカをご馳走になりながら、ひと休みする。そして、政義さんから、牛を飼っていた昭和30年代当時の広河原の暮らしを聞いた。

「そうだな。夏の土用からお盆にかけては、毎日、干草刈りだったなあ。干草は冬場の牛の餌にする。草を刈る場所は、遠いところは3キロも離れていたからなあ。そこで草を刈って、3日ほど天日に干し、ユッサユッサと背負って家まで運ぶ。じとーっと汗が流れてきて、それが一番つらかったなあ。お盆もほとんど休み無しだ。そのあとは、今もそうだが、スゲやガマを刈る。これは、冬場、スゲ笠やムシロを編む材料になる。そして彼岸になると稲刈り、冬近くなるとカヤ刈りと続くなあ……………」

汗臭いTシャツのまま、メモをとる学生たちは、額に汗を浮かべたまま、ため息をついた。ほんの一時の下草刈りどころではない。初夏から晩秋まで、ひたすら「刈る」という作業が続くのだ。

石油や電気を使う暮らしに慣れ切っている私たちは、それらに依存しない暮らしが、どのような労働の上に成り立っていたのか、そのことを想像することすら難しくなっている。

トラクターを使わずに、牛馬を養う。草刈り機やチェーンソーを使わずに、鎌や斧をふるう。化学肥料を使わずに、堆肥をつくる。暖をとるために薪を割り、炭を焼く。衣類や履物、ゴザなどをつくるために、さまざまな草を刈り、樹皮を採る。屋根葺きのために、大量のカヤを刈る……。

それらすべてが生きるために必要な労働だった。

畦の草刈り



「生きるために、ひたすら刈る」

その労働から解放されたい



草刈、除草、稲刈り・・・すべて機械化したい

除草剤や農薬を使って、少しでも楽になりたい・・・



草を刈れなくなった場所は「耕作放棄地」となり、

やがて原野となり、山に戻る

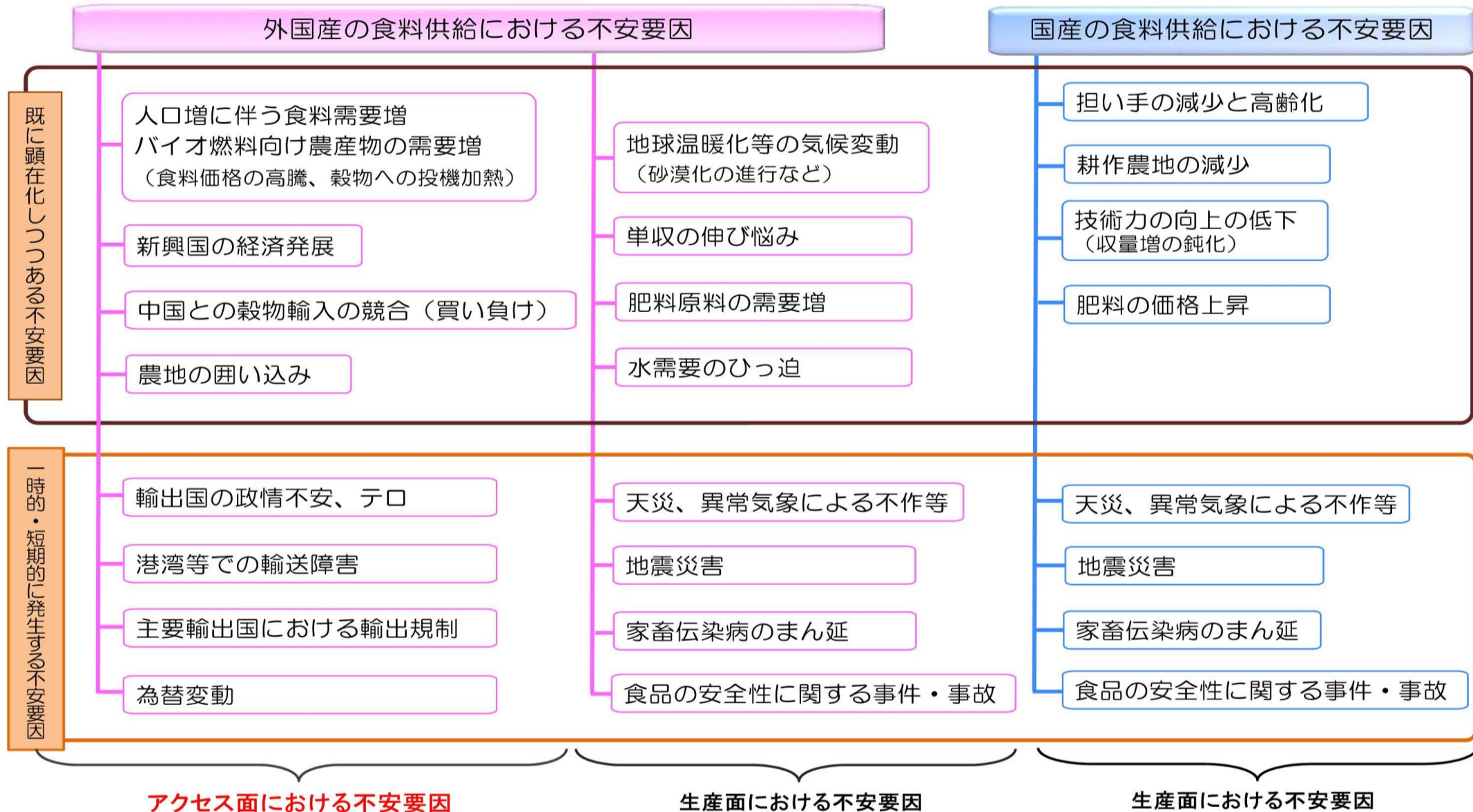


撮影：結城登美雄

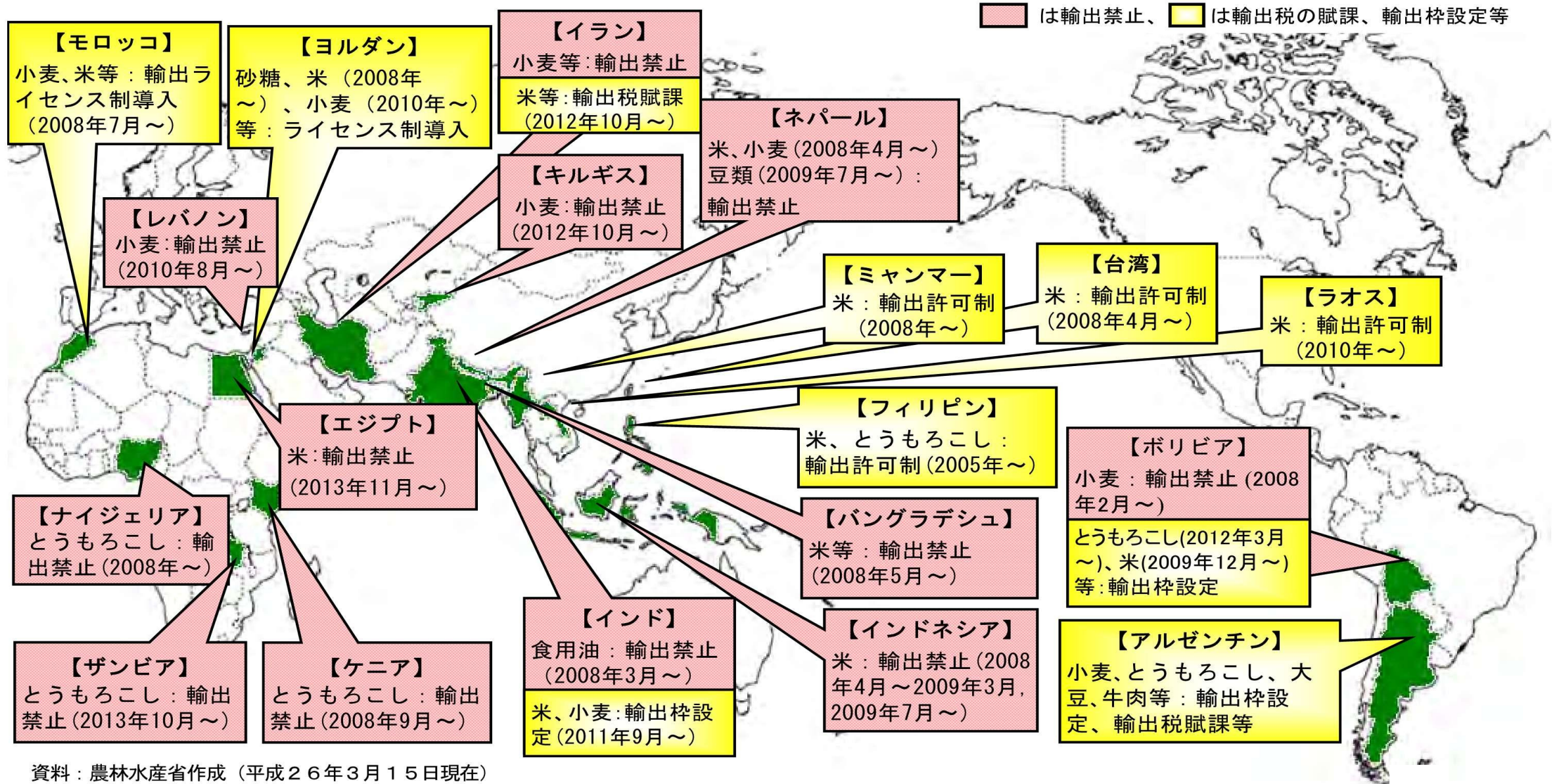


撮影：結城登美雄

食料供給に対する主な不安要因(リスク)



農産物の輸出規制の現状



「食料供給困難事態対策法」

2025年4月1日、食料供給困難事態対策法」が施行された。

異常気象などで米や小麦など「特定食料」が不足する恐れがある場合に深刻度に応じ、**生産できる農家へ増産の「要請」**や**生産計画の届け出の「指示」**を行う。

たとえば、国民1人1日当たりの供給熱量が1850キロカロリーを下回る場合、農家に芋など高カロリー品目への**生産転換を要請する**。

農家ら事業者が計画届出の指示に従わなかった場合、20万円以下の罰金を科す。

食料危機に対する3段階の対策			深刻度に応じ対応を強化
	目安となる基準	対策	
食料供給困難兆候	特定食料が平年比2割以上減るか、恐れがある	特定食料や特定資材の出荷販売の調整、輸入や生産の拡大を要請	
食料供給困難事態	特定食料が平年比2割以上減るか、その可能性が高く、食品価格の高騰や買い占め、買い急ぎなどが発生	● 特定食料・資材の出荷販売、輸入、生産の計画の作成と届け出を指示（従わないと罰金） ● 供給不足なら、計画変更を指示	
	1人1日当たりの供給カロリーが1850kcalを下回るか、その恐れがあるなど	● 農家にカロリーを重視した生産転換を要請 ● 生産計画の作成と届け出を指示（従わないと罰金）	

輸入がストップした場合の 食事例（農水省）

～2015年における農地の見込み面積（450万ha）などを前提に、
熱効率を最大化（2,020kcal）した場合の試算

加えて、うどん2日に1杯、みそ汁2日に1杯、納豆3日に2パック、牛乳6日にコップ1杯、
たまご7日に1個、食肉9日に1食

資料：農林水産省「いざという時のために ～不測時の食料安全保障について～」

朝食

昼食

夕食



国内生産のみで2,135kcalを供給する場合の食事メニュー例

国内農業生産だけで昭和20年代後半の水準の熱量供給が可能

朝食



茶碗1杯
(精米76g分)



焼きいも2本
(さつまいも2本・225g分)



ぬか漬け1皿
(野菜90g分)

昼食



焼きいも2本
(さつまいも2本・225g分)



蒸かしいも1個
(じゃがいも1/2・84g分)



果物
(りんご1/4・46g分相当)

夕食



茶碗1杯
(精米77g分)



粉吹きいも1皿
(じゃがいも1.5個・168g分)



焼き魚1切
(魚の切り身81g分)

調味料(1日分)

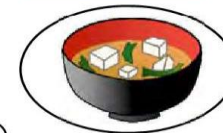
砂糖小さじ6杯、油脂小さじ0.9杯

2日に1杯



うどん
(小麦55g/日分)

2日に1杯



みそ汁
(みそ10g/日分)

4日に3パック



納豆
(大豆36g/日分)

6日にコップ1杯



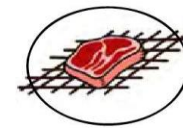
牛乳
(牛乳32g/日分)

7日に1個

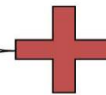


たまご
(鶏卵7g/日分)

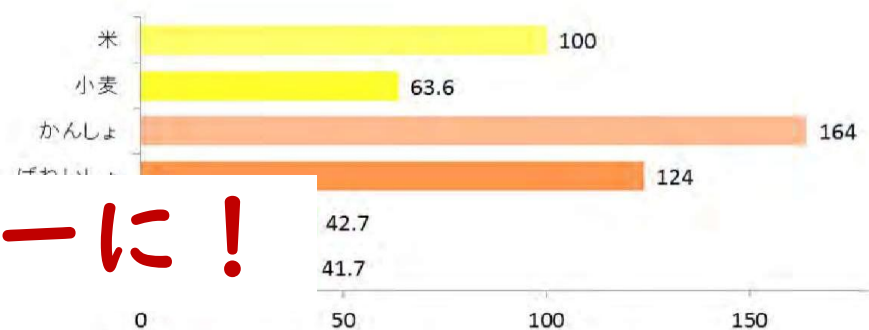
9日に1食



食肉
(肉類12g/日分)



【参考：単位面積当たりの供給熱量(米を100とした指数)】



非常時は、芋尽くしのメニューに！

地球温暖化の進展による農業生産等への影響

地球温暖化は、農業生産に対して、CO₂の濃度上昇による収量増加というプラス面がある一方、気温の上昇による農地面積の減少や異常気象の頻発による生産量の減少などのマイナスの影響を及ぼす懸念。

ヨーロッパ ※2

- ・北ヨーロッパでは、気候変化により、暖房需要の減少、農産物生産量の増加、森林成長の増加が見られるが、気候変化が継続すると、冬期の洪水、生態系危機、土壌安定性減少による悪影響が便益を上回る。
- ・中央ヨーロッパ、東ヨーロッパでは、夏の降水量が減少し、水ストレスが高まる。
- ・南ヨーロッパの一部で、高温と干ばつが農作物生産を減少させる。熱波が頻発し、森林火災が増加。

インド ※1

- ・1mの海面上昇で、約6千km²が浸水し、農地が失われたり、塩類化が起こる。
- ・深刻な水不足により、小麦やコメの生産性が悪化。

アジア ※2

- ・2050年代までに10億人以上に水不足の悪影響。
- ・南アジア、東アジア等の人口が密集しているメガデルタ地帯で、洪水が増加。
- ・21世紀半ばまでに、穀物生産量は、東・東南アジアで最大20%増加、中央・南アジアで最大30%減少。人口増加等もあり、いくつかの途上国で飢餓が継続。

北アメリカ ※2

- ・今世紀早期の数十年間は、降雨依存型農業の生産量が5～20%増加するが、生育温度の高温限界にある作物や、水資源に依存する作物には大きな影響。

ラテンアメリカ ※2

- ・今世紀半ばまでにアマゾン東部地域の熱帯雨林がサバンナに徐々に代替。
- ・より乾燥した地域では、農地の塩類化と砂漠化により、重要な農作物・家畜の生産力が減少し、食料安全保障に悪影響。
- ・温帯地域では大豆生産量が増加。

アフリカ

- ・2020年までに7,500万～2億5千万人に水ストレス。 ※2
- ・いくつかの国で、降雨依存型農業の生産量が2020年までに50%程度減少。 ※2
- ・気温が4℃上昇で農業生産が15～35%減少。 ※3

バングラデシュ

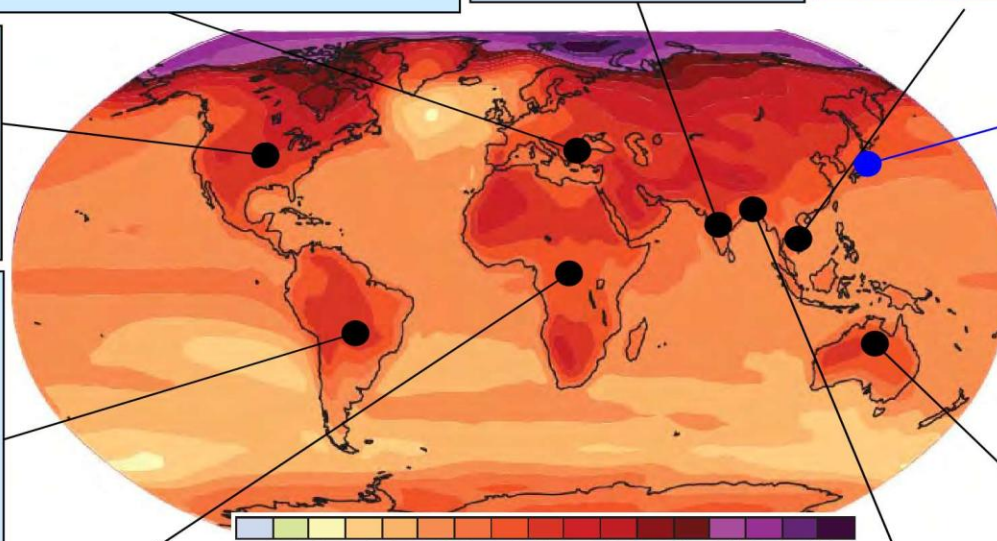
- ・1mの海面上昇で、約3万km²の国土が浸水し、農地が失われたり、塩類化が起こる。 ※1
- ・1mの海面上昇で年間80万トンから290万トンのコメ生産が失われる。 ※4

日本 ※5

- ・水稲について、気温が3℃上昇した場合、潜在的な収量が北海道では13%増加、東北以南では8～15%減少。

豪州・ニュージーランド

- ・降水量減少、蒸発量増加により、オーストラリア南部・東部、ニュージーランド北東、東部地域で2030年までに水関連の安全保障問題が悪化。 ※2
- ・オーストラリア南部・東部、ニュージーランド東部の一部で、増加する干ばつと火事のために、2030年までに農業・林業の生産が減少。 ※2
- ・気温が4℃上昇で一部地域で生産活動が不可能。 ※3



資料：IPCC「Summary for Policymakers (Figure SPM.6. A(b))」

注：上記図は、100年後(2090～2099年)の予測である。

注) 赤字はマイナス影響予測、
青字はプラスの影響予測





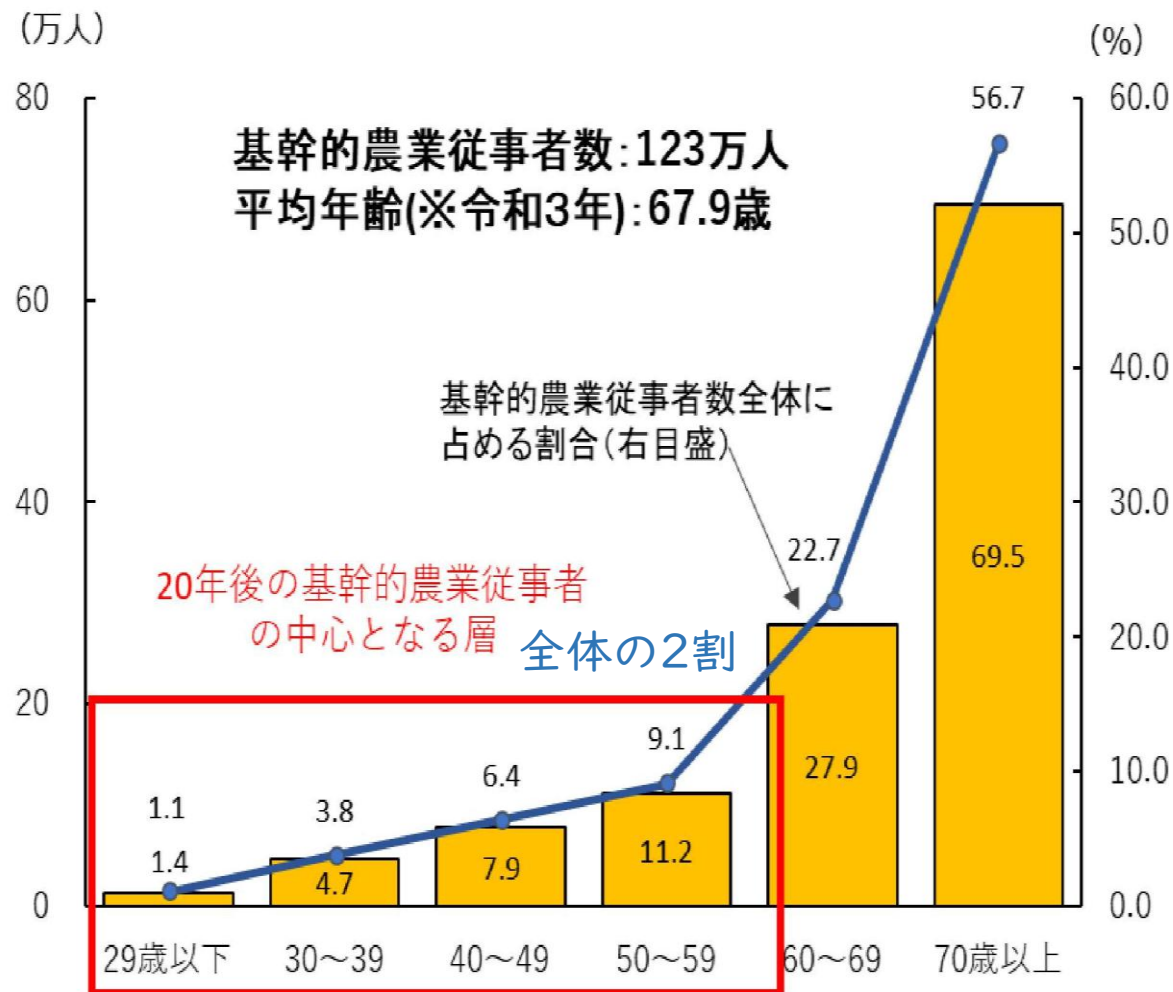
食料供給困難事態対策法



政府が農家に増産を要請。
生産計画の提出を義務付け、
従わない場合に罰則を科すことは、
憲法で保障された職業選択の自由
を侵害するのではないか？

そもそも、農家は増産できるのか？
そんな余力はある？ 机上の空論？

○ 基幹的農業従事者の年齢構成（令和4年）



資料：農林水産省「農業構造動態調査」（令和3、4年）

基幹的農業従事者：15歳以上の世帯員のうち、ふだん仕事として主に自営農業に従事している者をいう。

哲学対話

あなたにとって、主食とは何か？

- ・ あなたの主食は、米・パン・麺類・芋類？ 栄養剤？
- ・ 主食は「買う」もの？ 「つくる」もの？
- ・ 私たちの「食」は、これからどうなる？ etc.

哲学対話の8つのルール

1. 何を言ってもいい。
2. 人の言うことに対して否定的な態度をとらない。
3. 発言せず、ただ聞いているだけでもいい。
4. お互いに問いかけるようにする。
5. 知識ではなく、自分の経験にそくして話す。
6. 話がまとまらなくてもいい。
7. 意見が変わってもいい。
8. 分からなくなってもいい。（疑問や不明点はそのままにして一緒に考える）